(認特)浜松 NPO ネットワークセンター
2024 年度　事業報告　（2024/4/1～2025/3/31）

１．民間非営利組織の発展を支える事業

（１）共同事務所運営：会議室・事務機器の貸し出し、事務局代行、交流コーナー

事務局代行は、フィリピノナガイサ、浜松環境ネットワークの２団体

（２）啓発

１）ネットワーク事業

① つながる仲間ミーティング【静岡県労働者福祉基金協会】

地域社会に幸福を感じられるような環境をつくるために NPO 活動を支援育成するというＮＰＯパートナー委員会に参加。年２回委員会開催。浜松市市民協働センターとともに西部地区社労協と関わることになっている。

② フードバンク

個人、企業、リサイクル実践機関とネットワークすることによって、孤立を防ぐための支え合いと地球環境を守るための資源循環の啓発活動として実施。

*外国人市民向け食料支援（HICE との協働）：のべ 22 家族へ合計 145Kg 提供。

*通年：食品寄贈受け入れ（86 件、700Kg））　食品提供（82 件、533Kg）

食品のやり取りを通しての連携：障害者発達支援センター、企業（CSR の一環、防災備蓄の入れ替え）、教会、自治会、子ども食堂、学習支援者、路上生活者支援団体。

受け入れ重量が例年のほぼ３割減。Web ページからの情報で問合せがコンスタントにある。常連の寄付者も定着している。

③浜松こどもまんなかネットワーク会議

浜松市が「浜松市こども計画」策定のための作業を進めることに合わせ、こども支援の市民団体が集まり、交流しながら意見交換をし、市の関連委員会やパブコメの機会を使って浜松市への提言活動を行っている。（11 団体が連携：みらい TALK、こどもﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ、こどもｱﾄﾞﾎﾞｶｼｰｾﾝﾀｰ浜松、ここみ、はままつ子育てﾈｯﾄﾜｰｸぴっぴ、子ども育ちﾚｽｷｭｰﾈｯﾄ、ｱｸﾃｨﾌﾞ、E-JAN、のあん、はままつﾁｬｲﾙﾄﾞﾗｲﾝ、N-Pocket）

２）ニュースレター年４回、ホームページ、ブログ（エヌポケット８回、ジョブコーチ７回）、Facebook（45 件・ﾌｫﾛﾜｰ 739）、インスタグラム（facebook 連動）、X で発信

３）エヌポケットサロン

WEB パブコメサロン（２回）：第４次浜松市教育総合計画案 9/4　参加者８名、浜松市こども計画案 1/8　参加者９名

４）情報受発信

① 「浜松市 SDGs 推進プラットフォーム」会員

② 「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」パートナー会員

③ 静岡県西部 NPO 法人会・幹事会

④ “ふじのくに” ｉ（アイ）マップ支援団体登録、
合同相談会参加（沼津会場、富士会場、静岡会場、11/2 島田会場、10/6 浜松会場）

⑤ 内閣官房　孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム協力会員

⑥ ふじのくに孤独・孤立対策プラットフォーム加入団体

⑦ 講師派遣　可美地区社協福祉講演会、静岡市知的障碍者福祉協会、静岡県 NPO 女性リーダー交流会、就労を考えるみんなの集い「カフェ就労」, 静岡特別支援学校南の丘、浜松手をつなぐ育成会、オールしずおか ベストコミュニティ

（３）地域資源調査

Web サイト「はままつ市民の力きらきら BOX」　内容一部更新

（４）提言

１）行政機関等の各種委員会委員

島田江津子：西遠地区就業促進協議会委員

大野木里美：湖西市市民活動補助金審査委員、
浜松市共同募金委員会委員

井ノ上美津恵：浜松市市勢功労者表彰審査委員

深村清美：浜松市中エリア障がい者自立支援連絡会構成員

平井明樹夫（会員）：浜松市ユニバーサルデザイン審議会委員

２）パブリックコメント提出

第４次浜松市教育総合計画案 22 件、浜松市こども計画案 23 件

２．多様な人々の社会参加を支える事業

（１）障害のある人

１）障害者職場定着支援事業（23 年目）【静岡県経済産業部】

① ジョブコーチ派遣

支援対象者 352（324+28）/300 人　派遣件数 3,685/3,600 人日

定着調査 135 人（継続 98、離職 21、雇用されない 16）

② ジョブコーチスーパーバイザーによる企業内ジョブコーチへのアドバイス支援

289/280 人日

③ ジョブコーチスキルアップ研修　10 回

ジョブコーチの資質の向上を図る講座を会場開催または Zoom で開催

参加者 56 人（のべ 420 人）

④ 障害者職場定着支援者養成研修

静岡県ジョブコーチ希望者および企業担当者、障害者施設などの支援者向け研修

日程：第１回　8/21・22・23・27・28　、第２回　10/16・17・18・22・23

場所：現地、Zoom によるオンラインおよびハイブリッド研修

受講者：第 1 回 42 人、第 2 回 86 人

修了証発行：第 1 回 33 人、第 2 回 61 人

実習希望者 8 人→2025 年度 JC 登録 6 名（辞退 2 名）

⑤ 精神障害者職場環境アドバイザーの派遣

150/96 社　337/288 人日　定着支援人数 82/100 人

定着調査 45 人（継続 42、離職 3）

⑥ 関係機関との連携

オールしずおかベストコミュニティ　コーディネーター、

コネクトラボ　職域拡大コーディネーターとの連絡会（月 1 回）

2）静岡県ジョブコーチ派遣事業運営のための付随事業

① 拠点ミーティングおよび代表者会議　それぞれ月 1 回

② ブログ発信 7 回　https://blog.canpan.info/shizuokakenjobcoach/

③ 静岡県ジョブコーチ　アドバイザリーボード(1 回)

④ 関係団体とのネットワークづくり

・各地区の各種支援会議

3）障害者職業センタージョブコーチ事業（障害者職場適応援助者助成金事業）（22 年目）

【独立行政法人　高齢･障害･求職者雇用支援機構】

職業センターとの連携の下に実施する訪問型ジョブコーチ支援事業（ジョブコーチ 1 名）

4）障害者雇用コンサルタント

① 磐田市の病院での支援（中遠拠点）　【自主事業】

藤枝市の病院での支援（志太榛原拠点）【自主事業】

② 静岡県人事課【自主事業】

職員向け意識啓発研修および個別相談会

職場定着支援

③ 自治体や企業を対象にした JC 利用契約促進のための訪問活動

（2）ICT による社会参加支援

1）障害者在宅 ICT 機器講習

① 西部地域（13 年＋8 年目）　【静岡県健康福祉部】

申込 28 名（視覚 19、肢体 5、聴覚 2、重複 1、精神 1）

講師 9 名、実施講座 263H

② 中部地域（4 年目）　【静岡県健康福祉部】

申込 2 名（肢体 1、視覚 1）　講師 2 名、実施講座 22H

③ 東部地域（4 年目）　【静岡県健康福祉部】

申込 3 名（肢体 2、視覚 1）　　講師 2 名、実施講座 33H

2）障害者福祉施設内での iPad 講座＋PC 講座（16 年目）【浜松市社会福祉事業団】
iPad12 回（のべ 92 名）＋PC 講座 24 回（のべ 161 名）　ボランティアのべ 72 名

3）バリアフリーオアシス（相談、在宅訪問）　【寄付による自主事業】

（3）多文化・子ども

①自分の意見や思いを安心して他人に伝えられることは保障されており、そのことを子ども自身が自覚できていること、②権利基盤型アプローチで子どもの権利を考えることにより、子どもを客体でなく主体としてみられる大人たちがたくさんいること、③子どもに関わる施策等、社会づくりのために当事者である子どもの意見を聞くことを必要とするが、その仕組みが社会に多様にあること。これらを望ましい社会状況と考え、以下の事業を行った。

1）「こども若者「居場所づくり」事業」2024 年度浜松市地域力向上事業

① 個別訪問型得意支援 合計 191 回（230.5 時間）

＊ほか、寄付での実施分　合計 57 回（64.5 時間）

対象者 12 人：小 3 人、中 6 人、高 3 人

（障害あり 4／養育者 シングルマザー7、両親 5／ 外国ルーツ 5／登校 不安定 2、不登校 1）

講師 9 人（スクールカウンセラー、元小学校教員、特別支援教室支援員、元適応指導教室支援員、ICT 教室主宰者、元塾講師）

② 調査活動「こども若者の声をきくヒアリング調査」、「居場所調査」

【こども若者の声をきくヒアリング調査】

・人数：12 名（女性 7 名、男性 5 名）

・年齢：16 歳 2 名、18 歳 3 名、19 歳 4 名、20 歳 1 名、25 歳 1 名

・性別：女性 7 名、男性 5 名

・居住地域：浜松市内、掛川市、湖西市

・学校種別：私立通信制 6 名（第一学院、おおぞら）、公立通信制 2 名（中央）、公立定時制 4 名（大平台）

・外国ルーツ：1 名

【居場所調査】

NPO 法人ビブレリブレ、NPO 法人しんみらいプロジェクト、ikicia、NPO 法人みんなの安心できる居場所のあん、浜松学生プロジェクト、スマイルボランティア

③こども若者の声をきいて「居場所」を考えるみんなの円卓会議



開催日時：2025 年 1 月 26 日（日）　13:30～17:00

場所　　：入野協働センター

参加者　：こども若者 7 名、市議会議員 8 名、フリースクール関係者・教員・スクールソーシャルワーカー・こども支援者・保護者など大人 21 名(オブザーバー2 名含む)、グループコーディネーター6 名、記録係 6 名、スタッフ 3 名　合計　51 名

内容：　1．訪問型得意支援および調査活動のこれまでの報告

2．円卓会議

1）テーマ「大人の都合、こどもの都合」

2）テーマ「どんな居場所があったらいいと思う？」

(出張市長室での市長プレゼン)

2/20 入野協働センターにて、事業の中間報告及び提言を市長に対しておこなった。

＃「意見表明の場の多様化と居場所の多様化からこども若者が自ら選択できる社会づくりを」

2) 「多様な困難を抱える青少年の声をきいて行う居場所づくり支援活動」2024 年度ドコモ市民活動団体助成　（実施期間　2024 年 9 月～2025 年 8 月のうちの 2025 年 3 月まで）

①居場所に関わる意見表明の場「ダベリバ開催」

協働企画団体　（1）Hamamatsu Youth Voices　2/2、11 名参加

（2）NPO 法人ビブレリブレ　2/20、17 名参加

（3）ワンダーワンダー　3/18 第 1 回企画会議

②居場所実態調査　公的施設 9 か所（4 児童館、浜松市勤労青少年ホーム・アイミティ浜松、浜松市子ども若者総合相談センター・わかばプラス、浜松市青少年の家、ふれあい交流センター萩原、浜松市男女共同参画文化芸術活動推進センター・あいホール）

3) 浜松市支援対象児童等見守りサポート事業による支援

児童虐待予防の目的で、対象児童の家庭に食品を毎月届けながら見守り社会とのつながりをつけておくもの。

受託団体　「NPO 法人しずおか・子ども家庭プラットフォーム」の協力団体として実施。

実数 5 家庭（対象児童 9 名）へ 53 回訪問

3．組織の管理運営

（1）事務局

1）事務局会議：事務局に勤務する全スタッフによる事務局会議を、毎週水曜 10:00～11:00 で 44 回行った。各事業担当者から 1 週間の進捗報告と予定、事務局より事務連絡、組織運営のため

の相談・協議を行う。

2）拡大事務局会議：年 1 回、4 月に年間戦略会議を持ち、各事業の棚卸、課題の共有、今後の展望等について議論する場を持つのが恒例だが、本年度は 4/11 にゆめ応援プラザにてリトリートを行った。

3）パートナーシップ構築宣言：取引先との共存共栄の取組や、「取引条件のしわ寄せ」防止を代表者の名前で宣言した。

（2）理事会

2024 年度は 4 回の理事会を開催し、事業運営、組織運営に関わる協議を行った。

6/9（土）13:00～14:00　　理事 8 名（委任状 2 名）、監事 2 名、その他 4 名　計 14 名

6/9（土）16:20～16:30　　理事 10 名（委任状 1 名）、監事 2 名、その他 1 名　計 13 名

12/20（金）18:30～20:00　理事 9 名、監事 2 名、その他 1 名　計 12 名

3/28（金）18:30~　　理事 9 名、監事　1 名、その他　1 名　計 11 名

（3）総会

6/9（土）14:15～15:45　浜松市市民協働センター2F　会議室

参加者：正会員 23 名（うち委任状提出 10 名（正会員総数 40）

（4）認定 NPO 法人の認定について

2024 年度寄付　3,000 円以上の有効寄付者数 104 名